

消費税が作る未来の家庭

奈良県立十津川高等学校 一年 大海 静里奈

小学校の頃、初めて消費税という仕組みを知ったとき私は、

「はらうおかねがふえるの？」

と、自分の財布からお金が減ることに、

「いやだなあ。」

と、思っていました。でも今は違います。

今、現在の消費税は 8% です。ですが、来年の 10 月には 10% に増税されるそうです。

これは、国民にとって大きな負担です。ではなぜ、国は増税するのか。それは単純にお金がたりないからだと思いました。

日本で大きな問題となっている、少子高齢化による、年金や医療などの社会保障費の急増、これに税収が追い付かず、国の赤字が今も拡大していることを調べて知りました。

さらに、増税して得た税収を使い、財政の健全化を進める予定だそうです。

ですが、最近自民党は選挙中の公約として増税分の使い道を変えようと言っていました。

変更内容は、借金返済に使うはずだった税収の一部分を、低所得世帯の 0～2 歳の保育無償化、3～5 歳の幼児教育、保育の無償化など子育て世代への投資などに使うというものでした。

近年、保育施設の上限を児童の数が上回ってしまったことによる待機児童が社会問題になっているのをニュースで知りました。

そして、日本の人口は 8 年連続減っているというデータもあるほど、今の日本は少子高齢化社会です。それを、食い止めるために政府は、増税した税収で育児・教育への支援をしようという考えなんだと知りました。

人口が増えるのは、それだけ産まれる命の数が多いということです。そのためには、子どもを育てやすい環境が必要です。

出産し子どもができれば必然的に家計の負担は増えます。すると、片方の親の収入だけでは、将来的にも苦しいでしょう。

だから、出産して少し落ち着けば、子どもを見てくれる、家族と一緒に住んでいない現代の核家族には、保育施設に子どもを預けて働く選択しか残されていないにもかかわらず、子どもを預けるはずの保育施設に

「空きがないから、受け入れられない。」

と、言われれば現代のママさんやパパさんはたいへん困ることだと思います。

そんな人達のために、消費税が引き上げられるのなら、

「しかたないな！」

と、私は思いました。

それに、将来働く人がいないと今、必死に働いて税を納めて社会を支えてくれている人達を、次に支える世代がいなくなってしまう。

日本の将来のために、私が納められる税は消費税ぐらいで、たかが知れていますが将来はきっちりと税を納められる人になるよう、今はしっかり勉学に励みたいと思います。

最後に、子育て世代の方々が安心して働ける社会に、早くなることを心から願います。